



# 災害に備えましょう

見やすいところに貼っておきましょう

薩摩川内市役所

23-5111

薩摩川内市防災ホームページ  
https://www.satsumasendai-bousai.jp/



薩摩川内市防災 HP  
QRコード

## ◆日ごろの備えと早めの避難が大事です！

### ●防災マップを確認しましょう

防災マップには、危険から身を守るための大切な情報が書かれています。災害が発生する恐れが高い区域のほか、避難場所、避難経路などを確認しておく、スムーズな避難に繋がります。



日ごろから、家族等で確認しておきましょう。

台風・豪雨時に「避難情報のポイント」を確認し避難しましょう

## 4 警戒レベル 避難指示で必ず避難

警戒レベル	避難情報等
5	※1 きんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b> 災害発生又は切迫
4	ひなんしじ <b>避難指示</b> 災害のおそれ高い
3	※2 こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> 災害のおそれあり
2	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 (気象庁) 気象状況悪化
1	早期注意情報 (気象庁) 今後気象状況悪化のおそれ

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

警戒レベル4で、危険な場所から全員避難しましょう。

警戒レベル3で、高齢者や、障害のある人は、危険な場所から避難しましょう。

自らの避難行動を確認する段階ハザードマップ等により自宅等の災害リスクの避難所等や避難経路等を再確認するなど避難に備え自らの避難行動を確認しましょう。

災害への心構えを高める段階防災に関する気象情報に注意しましょう。

※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではないことから、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。  
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。



「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

## 自分の避難行動は？

ご自身の住まわれている所の危険性を知りましょう！  
ハザードマップやWEBサイトで確認しましょう

### 必ず確かめましょう

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

住んでいる所に色が付いている(住んでいる所が危険性のある地域に含まれています)

原則、**避難の必要はありません**が周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住いの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください

はい  
浸水や土砂災害のおそれがある際は立退き避難の必要があります

※**浸水の危険**があっても、次の**3つの全てを満たす場合は**、避難所等に避難せず、自宅にとどまり安全を確保することも可能です(「**屋内安全確保**」といいます)

- ①洪水により家屋が倒壊又は崩落するおそれのない区域にいる
- ②浸水する深さよりも高い所にいる
- ③浸水しても水が引くまで我慢でき、水・食料などの備えが十分にある



ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい  
警戒レベル3 高齢者等避難が出たら避難を開始しましょう

いいえ  
警戒レベル4 避難指示が出たら避難を開始しましょう



- 安全な親戚や知人宅
- 市の指定避難所
- 旅館やホテル等の宿泊施設
- 屋内安全確保

指定避難所や避難時の注意事項等は裏面をご覧ください

## 土砂災害から身を守るために

### ◆土砂災害の前兆を知ろう！

大雨や長雨時は**要注意！**

土砂災害が発生する前には、次のような現象が起こると言われています。

#### 土石流の前兆

- 「山鳴り」(山全体がうなっているような音)がする
- 川の流が濁ったり、流木が混ざっている
- 雨が続けているのに川の水が減っている

#### がけ崩れの前兆

- がけから小石がバラバラと落ちてくる
- がけに割れ目ができる
- がけから水がわき出ている

※これらの前兆現象がなく、土砂災害が発生する場合があります。

- 災害が発生する前兆現象に気づいたら…
  - ☑すぐに安全な場所に避難してください。
  - ☑できたら、ご近所へも声掛けをお願いします。
  - ☑自治会長や市役所等への連絡をお願いします。

#### 夜間に大雨が予想される時は…

- 暗くなる前に避難！
- お年寄りや体が不自由な方がいる場合は移動時間を考えて早目の避難を！

夜間・大雨中での避難は避けましょう

#### 外に出ることが危ないときは…

雨が激しく外に出ることが困難な時は、斜面や川から離れた、できれば2階以上の部屋へ避難しましょう

## いざという時に備えて

保険・共済に加入しましょう。風水害・土砂災害や地震などの災害に対しては、**保険や共済に加入**するという事前の備えが重要です。既に加入している方も補償対象・内容が十分か見直してみましょう。詳しくは、総務省消防庁のホームページに掲載されています。総務省消防庁 <https://www.fdma.go.jp>